

なごやの学童保育

市連協ニュース No.9

2016年度・1月10日発行
 名古屋市学童保育連絡協議会
 TEL (052)-872-1972
 FAX (052)-308-3324
 E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

1筆1筆積み上げて

市長への要望署名・取り組み報告

今年の名古屋市学童保育連絡協議会（市連協）における署名の取り組みは、例年行っている名古屋市議会への請願署名ではなく、市長に対する要望署名です。

「(学童保育所の) 移転先を確保するために、行政として市有地の紹介等最大限に努力してください」という2013年度に市議会で採択された請願項目と同内容で、実行を市長に訴えるものです。ある学童保育所での取り組みを紹介します。(昭和区・保護者)



今回の署名は10年ぶりという団体署名で、署名対象は主に現在の学童保育関係者となりました。私たちの学童保育所では、このような方式の署名取り組みは初めての人か、経験したことがあっても記憶がほとんどない人ばかりです。

いつもの請願署名の場合、割り当てられた枚数を配布物として各家庭に渡し、それぞれ可能な限り埋めてきて提出してもらっています。しかし今年の要望署名は、現在、学童保育所とつながりのある人たちが対象であり、さらに直筆のみという取り組みです。「どうしたらいいんだろうか」と戸惑いましたが、父母会や

行事で保護者が多く集まるその場で書いてもらうようにしました。署名用紙をはさんで向かい合い、直接顔を見て話しながら署名してもらうということになり、非常に意義のある取り組みとなったように感じました。

父母会や、年末のお楽しみ会の会場で取り組み、学童大掃除の終わった後に協力をお願いし、さらに夜お迎えに来た保護者にも声を掛けるようにして署名してもらいました。

毎年「署名って大変だなあ…」と思っていましたが、今年は楽しみながら取り組むことができています。目の前で名前を書いてもらって1筆1筆積み上げられていく、そんな様子を見つめながら、市長や行政に少しでも学童の声が届いてほしいと思いました。

まだ2月の締め切りまで1カ月あります。1月の父母会や、2月の区の学童保育行事でも取り組めそうです。この署名取り組みによって、一歩ずつではありますが、学童保育を良くしているのだと、名前を書きながら感じてもらえれば、と願っています。

遊びのビデオレター、上映に行きます

えがおプロジェクト

東日本大震災の被災地の学童保育所を支援する「えがおプロジェクト」は2016年度の活動として、学童保育所での遊びを紹介し交流するための「遊びビデオレター」を作成しました。

名古屋市内8カ所の学童保育所の遊びをまとめた動画です。5分程度のダイジェスト版もあります。各区連協や学童保育所で観てみませんか？希望があればプロジェクトメンバーが上映に行きます。

実際に学童保育所で子どもが遊んでいる姿を見ることができます。名古屋市内でも様々な遊びがあることも知ることができますよ。上映会のお申し込みは市連協事務局まで。

「安心できる人がいる」

熱田区で学童保育の学習会

熱田区学童保育連絡協議会（熱田区連協）は2016年12月16日に、市連協役員の名東区指導員の亀井達也さんを講師に招き、「学童とは場所ではない。子どもは、安心できる人がいるから学童に帰ってくる」をテーマに学習会を開きました。

熱田区連協には、3つの学童保育所が参加しています。3つの学童しかありませんが、運営規模は大中小で、抱える課題はまさに三者三様です。指導員が集まる場もこれまではなく、子ども達への保育の悩みを話し合う機会もなかなかありませんでした。また私達保護者も、指導員とはどんな仕事なのか具体的に知らないことに気が付き、今回の学習会のテーマに選びました。

「学童とは場所ではない。子どもにとって必ずしもホッとできる場所ではない。子どもは人を求め、安心できる人がいるところが学童なのだ」という亀井さんの言葉に私はドキッとしました。学童には信頼できる指導員さんがいるから、子ども達にとっても私達保護者にも安心できる居場所なのだと思います。

指導員さんからは、コミュニケーションをとるのが難しいとの共通した悩みがありました。子どもの多い学童では、1日1回は子どもと話すのを目標にしている指導員さんの努力を知ることができました。また名東区では、他の学童の保育に数日入る現場研修があるそうで、他を知ることは学童にとっても指導員さん自身にとっても良い機会になると思いました。

指導員同士のネットワークが広がってスキルが上がれば、子ども達にとってもプラスになります。熱田区の中だけでは小さいけれど、学童と指導員さんがつながれるきっかけの学習会になりました。

（熱田区・保護者）

蓮舫氏が学童を視察

民進党の蓮舫代表が2016年12月10日、名古屋市名東区の猪高留守家庭児童育成会を視察しました。子どもたちとカルタやヤットコなどで交流した後、保護者や指導員、市連協役員と懇談しました。



保護者や指導員との懇談で蓮舫氏は、「本音の気持ちを聞きたい。「(子育ては)今残念ながら置き去りにされている」とあいさつ。「(学童保育に加え)いじめ、不登校、進学など子どもにはいろんな問題がある。問題を解決する予算が今の政権にはない。ハード面に目が向いている」としました。また「子どもたちの縦のつながり」など学童保育の良さに理解を示しました。

参加した保護者は「今年1年間、保育園は脚光を浴び国会でもクローズアップされたが、学童保育は言葉も聞かれず置き去り。学童保育がないと女性は活躍できない」、「名古屋市ではプレハブは建ててくれるがエアコンなどは自前。建て替えに200万円はかかった」、「せめてプレハブではなくもう少し良い物を」、「保護者には行事や運営への参加など負担が大きい」など現状の問題と施策充実を訴えました。指導員も「助成金上がり、指導員の給与も少しずつは上がってきたが、保護者の負担は変わっていない」と伝えました。

市連協役員からは、「放課後子ども総合プランで学童保育所と放課後子ども教室を一体化する動きがあるが、機能はそれぞれ違う。精査してほしい」と訴えました。また「土曜日の合同保育への助成を政府に訴えてほしい」と要望し、蓮舫氏は「わかりました」と答えました。

市連協学習会「指導員の確保に向けて」

採用のプロ（保護者OB）が対処法を指南！

日時：2017年1月24日(火)19:30～21:30

場所：労働会館東館 2F ホール（熱田区沢下町9-7）